

YUMETRY Vol. 6

◇親の思いつれづれに

◇記事内容

農業班：K T 邸大幅改装！？
 豊科店：腰の高さの雪にもめげず平常営業
 有明店：大雪の中・・・
 外販部：お客様の感謝の声
 D T P：ローランドプリンター

◇コラム1年経っての思い

夢トライ通信 3月号

発行日：2014年3月8日
 発行：NPO法人 夢トライ
 所在地：〒390-0805
 松本市清水2-11-45
 電話：0263-35-3530
 F A X：0263-35-3547
 メール：npo@yumetry.com
 U R L：http://yumetry.com/npo

親の思いつれづれに

理事 横田 明美

理事として関わらせていた
 だきまして2年目の後半を迎
 えました。現在、来たる6月
 の総会に向けて、夢トライの
 今後の課題を定例会の他に毎
 月第4週にもう1日、臨時会
 を設けて検討しているところ
 です。

夢トライのNPO法人設立
 は平成14年。その前身の共同
 作業所の設立が平成12年との
 事。当時の親の会の皆様が伊
 藤理事長さん、ボランティヤ
 さんとともに重度の身体障が
 い者5人の方たちと一緒に築
 かれて今日があるのですね。
 (感謝！)

これからも「夢トライ」の
 理念の継承をしながら、制度
 改革への対応、経営改革を
 クリアして何より本人、保護
 者の思いを汲み取って個別支
 援を充実させ、より良い就労
 の場となることを願っていま
 す。

このところ親の会の活動が
 ひと休みしてしまっています
 が、親の思いは設立当初と変
 わらないのではと思います。
 今までの集会の中で出て来た
 ものとして、①親なき後の生

活の基盤が心配。②日中活動
 の充実(休日の生活が不規
 則)を望む、等がありました。

生活コントロールができな
 かったり、コミュニケーション
 ンが上手く図れないことでゆ
 くゆくは社会的孤立をまねい
 てしまうのではと不安になっ
 てしまうのです。現在は親と
 同じ居るので見守り、声
 かけ、促しがもらえるが、ひ
 とりでは大変な場合が多いか
 らです。

また日々のちよつとした困
 り事やできない事を誰がどう
 フォローしてくれるのか、(親
 族や兄弟姉妹も自分達の生活
 があり、そう迷惑もかけられ
 ません)障害の理解に対する
 不安もあります。

これから先、制度は持続性
 の確保の為に改革(改悪?)
 されてしまう可能性も高いで
 すし、制度に基づいた事業に
 も公平・平等・必要最低限の
 原則から制約が設けられるこ
 とが予測されます。

それでも、どんな状況であ
 ろうとも、親として、自分の
 亡きあと、本人の生活が地域
 の中で笑顔とともにあります

ようにと願ってやみません。
 本人が当たり前、自分で悩
 み、迷い、選択し、自己決定
 できるように支援していきたく
 いと思っています。

その為にも、①本人の力を
 つける。(心身の健康を保て
 るようにする)②困った時、
 分らない時は誰を頼るか(誰
 がどんな形でフォローできる
 のか、どんな手段があるか)
 明確にしておく。③本人の支
 援者を増やす。(ネットワー
 クの構築)など、できること
 を少しずつやって備えていけ
 たらと思っています。

そしてせつかくある親の会
 の活動を通じて皆で手をつな
 ぎ、大きな輪を作っていた
 らと思っています。(なかなか
 か都合で参加できないことも
 多いのですが)

※横田さんの原稿を読ませて戴いて
 ある言葉の由来を思い出してしまいま
 した。それは、「断腸の思い」の由来
 です。

「晋の武帝桓温が船で蜀に攻め入る
 うとして三峡を渡ったとき、その従者
 が狼の子を捕らえて船に乗せました。
 母親の狼は泣き悲しみ、連れ去られ
 た子狼の後を百余里あまりも追い、つ
 いに母狼は船に飛び移り、そのまま死
 んでしまいました。母狼のはらわたを
 割いてみると、腸がずたずたにちぎれ
 ていました。桓温は怒ってこの兵士を
 罷免しました。」(世説新語・黜免より)
 というエピソードです。
 親が子を思う心は、どれ程偉いもの
 か、母狼の気持ちを想って、言葉をし
 くすしかありません。 伊藤正昭

Boys, be ambitious

理事長 伊藤 正昭

「Boys, be ambitious (少年
 よ、大志を抱け)」というフ
 レーズは、札幌農学校時代の
 ウィリアム・スミス・ク
 ラーク (William Smith Clark
 1826年7月31日 - 1886年
 3月6日) が学生達との別れ
 の際に、発した言葉として有
 名です。昭和時代に生まれ
 育った方々には懐かしく甘
 酸っぱい香りと共に脳裏に刻
 みつけられていると思いま
 す。



クラーク像 (さっぽろ羊ヶ丘展望台)

その後25年を経過した後、
 現在の福祉の仕事が始めてか
 ら「自分に合った仕事」、「自
 分を活かす仕事」、「自分がや
 りたい仕事」、「自分の夢や希
 望を叶える仕事」という言葉
 をよくスタッフの方々から聞
 くことが多くなりました。

そのような時、久しぶりに
 「Boys, be ambitious」という
 フレーズが、浮かび上がって
 きました。10代、20代の頃
 のような甘酸っぱい香りもな
 く、ただ、浮雲のようなイメ
 ージに変わっていました。
 自分の夢や希望に拘る事は
 大切です。しかし、拘り過ぎ
 てはいけない様に思えます。
 その拘りが、一人一人の可能
 性を狭めているように思える
 からです。自分が意図しない
 職業や、人との偶然の出会い
 を大切にしながら柳のように
 柔軟な生き方を出来るスキル
 を身につけて欲しいと願う事
 が多くなりました。

ambitiousは「野心・大志」と翻訳されています。私も「大志」とは何なのか？良く解らないまま夢だとか希望だとか将来の職業だとかボンヤリとした空に浮かぶ雲のようなイメージでこのフレーズを使っていたように思い出します。
 そして、少年期、青年期を経て、社会人として歩みだしてから、このフレーズは私の脳裏の奥に「お蔵入り」となっていました。それからの自分を振り返ってみると、意

に反して配属された部署での仕事や、そこで出会った人たちとの触れ合いの中で必死に生きて来た様に思います。とにかく、必死に、一所懸命、目の前の仕事に向かい合っ生活をしてきた、としか言いようがありません。



看板 催物会場一式請負 横断幕・垂れ幕・看板～ポスター・チラシ・チケット作成等

夢トライ工房 〒390-0805 長野県松本市清水2-11-45 電話 0263-35-3530 FAX 0263-35-3547
E-mail: yumetry@yacht.ocn.ne.jp

長野県看護研究学会	長野県民松本文化会館	日本A D / H D 学会総会	東京大学鉄門記念講堂
日本看護研究学会	松本市市民芸術館	S S T 普及協会学術集会	群馬県民会館
SST 経験交流ワークショップ	一橋大学兼松講堂	松本市高齢者健康大会	松本市市民芸術館
APASLSingle Topic Conference	幕張メッセ国際会議場	日本総合病院精神医学会総会	都市センターホテル (東京)
NASH 2010	グランドプリンスホテル高輪	日本精神病理・精神療法学会	津田塾大学津田ホール
日本総合病院精神医学会総会	栃木県総合文化センター	日本女性骨盤底医学会学術集会	大宮ソニックシティホール

主な会場一式請負実績

D T P

ローランドプリンター

今回は、DTP業務における使用機材について説明します。DTP業務は大きく分けて二つあります。パソコンを使っての「データ作成」と、出力機器を使った「印刷業務」です。その「印刷業務」において夢トライDTP班で最も収益のあがる機材が今回紹介する「ローランドプリンター」(通称・ローランド)です。



ローランドを使って印刷した看板

右写真中央の機械がローランドで、この機械は用紙を変えられることによって、様々な印刷物をうつことができます。例えば、右写真の右奥にあるA1 (A4の8倍) サイズのポスターや、用紙を変更すれば、左側にある看板(90×90センチ)も作成できます。用紙を糊付きの光沢紙で印刷し、アルミ合板に貼り付けて作成します。

また、このプリンターの最大出力サイズが、幅1346ミリ×長さ3620ミリまで印刷可能なため、左写真の様な幅



垂れ幕や横断幕も印刷可能

11畳×長さ11畳の横断幕や幅60センチ×長さ6畳の垂れ幕もうつことができます。

他にも、このローランドは印刷だけでなく、カットインク機能をもっており、データにカットコントロールと呼ばれる特殊な色を指定することによって、その形に沿ってカッターが用紙を切ります。



表札作成の様子

かなり細かいところまでカットできますので、人の名前をカットし、「表札」として台座に貼ることもできます。

この他にも、「ステッカー」「のぼり旗」も製作できるこのプリンターは「印刷業務」における心臓とも言えます。

ふれあい農園

K・T邸改装

農業班の長い端境期を利用して、夢トライ工房の駐車場を隔てて北側にあるK・T邸の床改装を行いました。

改装を行った部屋は、南面の六畳2間の畳敷きの部屋をクッションフロアーに替える作業です。農業班にとって直売所等の作業は経験がありま

すが、畳張りの部屋をクッションフロアーに改装する作業は、全員が未経験の事ばかりです。

畳を剥ぐと襖の敷居と床下地板と5センチの段差があり、その段差を解消する方法から検討することになりました。本来、本畳の厚さは5センチなので当然その厚み分の段差が出来てしまいます。床下地の隙間をガムテープです



スタイロフォーム(断熱材)を床全面に施工

べて塞ぎ、その上に35ミリのスタイロフォーム(断熱材)を敷きこみます。これで、床

下からの冷風を遮断し、断熱効果を高められます。その上に、12ミリの厚のOSB合板を敷き詰めます。これで、47ミリとなり、クッションフロアーの厚みが、188ミリなので2ミリの敷居の面と差はできま

すが殆ど気にならなくなりま

す。ここまでの作業で、最も苦労したのは、築年数が古い為部屋が少しずつ変形していたこと、合板を敷き詰める作業はミリ単位で狂いを修正して敷き詰めながら行いました。どうしても解消できない隙間は、パテで補修してクッションフロアーの下地を作っていました。

次は最終段階のクッションフロアー(CF)を敷く作業



OSB合板を下地材として施工

です。まず、CFを仮置きし部屋の側面の型取りを行います。この型取りを行わないと側面の僅かな隙間が出来てしまいます。次に残りの床の幅を測り、CFを長めに裁断し、同じように反対側の側面を型取り

りします。そして、仮置きしたCFを半分捲り床に専用接着剤を塗り、CFを接着させます。この作業をもう半分行い、余分なCFを切り取って一部屋完成です。これをもう一部屋繰り返して、二部屋のCF床張り替が終わりました。

施工実質日数は、5日程で完成しましたが、皆初めての事ばかりなので、試行錯誤しながらお互いに意見を出し合いながら行う事が出来、仕事の達成感を味わえたのではないのでしょうか。



クッションフロアー完成

グループホーム・ケアホーム

BEING ビーイング



入居者が作ったかまくら

貴方の時計はどのように時を刻んでいますか？
 そして、貴方はどのように時を刻みたいのですか？
 ひとり一人の速さで、ひとり一人の秒針の長さで時を刻める場所、それがBeイングです。
 私たちBeイングができること、それは何らかの障害をもっているとしても時代の中で、社会の中で、街の中で自分らしい生活をいとむことのできる場所と、その鍵をお渡しすることです。

本年を迎えてから、日々の流れも早くBeイングの暮しも、先日の記録的な大雪と共に予定されていた新しい大型のテレビの入荷も遅れたままになっていきます。オリンピックを新しいテレビで観たいと楽しみにしていた入居者の皆様も、今回のような大雪の前では、人の力の無力さを感じるしかありませんでした。Beイングの皆様と同じように、夢トライ関係の沢山の皆様はいかがでしたでしょうか？通勤はもちろん、日々の暮らしすら大変だったと思います。スーパーやコンビニから食料品が不足し、「Beイングの食料の調達が大変です」と職員の牛山さんよりSOSがあり、コープさんにはいろいろな食材が売っていましたが、購入して届いたり10人の生活やお腹を満たす大変さを改めて感じました。24時間、動き続けるBeイングの皆様を支えながら、土日は私も入らせていただき、平日の日中は牛山さん、夜は中島さん、火曜の泊りは理事長。そして、この1ヶ月は3人の実習生さんも共に動いています。幸い入居の皆様の日々は、大きな病気や事件もなく平穏に流れている気がします。雪かきは、入居の方も手伝って下さいましたが、まだまだ苦戦中。

コラム

【1年経っての想い】

古山 夏鈴

夢トライに就職してあつという間に1年が経とうとしています。この1年は慣れないことばかりで周りの方々に助けて頂いてばかりでした。利用者の方々の中には私と同年代から年上の方までおり、職員としてどのように接しながら仕事を進めていけば良いのか、初めの頃は戸惑うことが多くありました。

能となります。障害者自立支援法においても就労支援の抜本的強化が謳われ、福祉施設から一般就労への移行を促し、障害者福祉計画の基本方針において、障害者自立支援法施行後は、一般就労への移行者をそれまでの4倍とする数値目標が示されています。しかし、実際に一般就労へ支援していくことは本当に大変なことで、職員と利用者のお互いの頑張りや強い意志が必要だと痛感しています。また同じA型事業の利用者でも、一人ひとりの知識や能力、思いや考えはそれぞれで、どんな支援を必要としてくるかもそれぞれ異なります。一緒に仕事をしていく中で少しずつ信頼関係を築きながら、一人ひとりの考えや悩みを知り、支援をしていければと思います。まだまだ手探りなことが多く、自分の力不足を身に沁みて感じています。

私の配属である有明のパン屋さんではA型の就労継続支援事業を行っています。A型事業に利用期間の制限はありませんが、利用者の方たちの発達や自立ということに照らすと「一般就労への移行」を目指していくことが重要な機

よって、ニーズに対応できる支援体制を築けることが1番ですが、ニーズが分かっているても現実の制度ではどうすることもできないという問題に直面することもありました。その度に現場への理解の乏しさを感じ、もどかしい気持ちになります。知恵を出し、現状の制度を乗り越える支援体制を築けることが理想ですが、今の自分では勉強不足です。今までの自分では勉強不足です。今までの自分では勉強不足です。今までの自分では勉強不足です。

編集後記

2月は2回の大雪に見舞われ、松本、塩尻でそれぞれ合計積雪が1メートルを超えました。夢トライ事務所でもカーポートが傾いたり、自宅へ向かった職員の軽自動車も雪道にはまって動けなくなりました。2回も立ち往生してしまいました。20年に一度の大雪とはいえ、忘れた頃にやってくるので大変です。備えようにも、次に来るのは20年後かもしれない…となると、除雪機を買うのもためらわれます。しかし、豪雪地帯の方々には、この程度の雪など毎年の事なのでしょう。私など、雪かきだけでハーハー言ってしまったが、頭が下がる思いでした。(青木諭)